

われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。



発行所 〒703-8272
岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟
電話代表 086-271-7175
FAX 086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者 岸本 清美
編集責任者 豊島 始男
印刷所 西尾総合印刷株式会社
定価(郵税共) 年額1,200円
ホームページ <http://izoku-okayama.jp/>

ご遺骨の早期帰還を目指し大幅な予算増額 —— 硫黄島特別対策事業 ——

平成23年度政府予算案に計上された戦没者遺族の処遇改善項目

◎恩給法関係 (総務省関係)

1. 基本額

22年度と同額 (据え置き)

2. 遺族加算

22年度と同額 (据え置き)

*公務扶助料

	現 行	平成23年 4 月より
基 本 額	1,814,000円	→ 1,814,000円
遺族加算額	152,800円	→ 152,800円
支 給 額	1,966,800円	→ 1,966,800円
	(月額 163,900円)	(月額 163,900円)

*特例扶助料

	現 行	平成23年 4 月より
基 本 額	1,420,700円	→ 1,420,700円
遺族加算額	152,800円	→ 152,800円
支 給 額	1,573,500円	→ 1,573,500円
	(月額 131,120円)	(月額 131,120円)

3. 扶養加給

22年度と同額の年額 72,000円

◎遺族等援護法関係 (厚生労働省関係)

1. 遺族年金等 (右の一覧表のとおり)

2. 戦没者遺骨収集・慰霊巡拝関係

(1)遺骨収集関連事業 (13地域)

15億6,700万円

(内、硫黄島特別対策事業・遺骨帰還関係費

11億1,000万円)

フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、パラオ、インドネシア、インド、沖縄、硫黄島、モンゴル、ザバイカル地方、アムール州、沿海地方、イルクーツク州

(2)慰霊巡拝関係 (12地域) 1億400万円

フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、パラオ、インドネシア、中国、

- モンゴル、硫黄島、ハバロフスク地方、グルジア、アムール州、沿海地方
- (3)慰霊碑の補修等 3,300万円
- *補修調査 (2 か所)
- ①ビルマ平和記念碑
(ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市)
- ②インド平和記念碑
(インド共和国・マニプール州インパール)
- (4)遺骨・遺留品の伝達 2,100万円
- (5)戦没者遺骨に係るDNA鑑定 4,000万円
3. 戦没者遺児による慰霊友好親善事業 2億8,300万円
- 14地域 792人及び
小規模地域108人
- (内、民間建立慰霊碑等整理事業 1,100万円)
4. 昭和館の運営費 4億2,900万円
5. 全国戦没者追悼式の挙行経費 1億3,300万円
- (1 県あたり国費参列者50人の2,350人)
6. 戦没者遺族相談員の謝金 年額 25,100円

《公務扶助料等年額一覧表》

種 別	現在の年額	23年 4 月より	月 額	対象遺族
公 務 扶 助 料	1,966,800	1,966,800	163,900	軍人/少佐まで同額
特 例 扶 助 料	1,573,500	1,573,500	131,120	軍人/少将まで同額
扶 養 加 給	72,000	72,000	6,000	軍人
先順位 遺 族 年 金	1,966,800	1,966,800	163,900	軍属、一部軍人
同 遺 族 給 与 金	同 上	同 上	同 上	準軍属
同 特 例 遺 族 年 金	1,573,500	1,573,500	131,120	軍属、一部軍人
同 特 例 遺 族 給 与 金	同 上	同 上	同 上	準軍属
後順位 遺 族 年 金	72,000	72,000	6,000	軍属、一部軍人
同 遺 族 給 与 金	同 上	同 上	同 上	準軍属
同 特 例 遺 族 年 金	56,400	56,400	4,700	軍属、一部軍人
同 特 例 遺 族 給 与 金	同 上	同 上	同 上	準軍属
他に公扶受給者のある妻の年金	193,200	193,200	16,100	軍人
特 設 年 金	456,400	456,400	38,030	軍人、軍属、準軍属
特 例 特 設 年 金	335,000	335,000	27,910	同 上
対馬丸特別支出金	年1,376,760	年1,376,760	114,730	遭難学童

(注) 上記の年額表は日本遺族会事務局の試算です。多少異動することもありますのでご了承下さい。

新年のご挨拶



財団法人
岡山県遺族連盟会長

岸本 清美

新年明けましておめで
とございます。

ご遺族の皆様には、お
健やかに新年をお迎えに
なれたこととお慶び申
し上げます。

あの夏の猛暑から、ひ
とっ飛びに冬が到来し、
例年にも増して厳しい寒

さでございます。ご遺族
の皆様には何卒、健康に
は充分ご留意され、今年
も引き続き遺族運動にご
支援を賜りますようお願い
申し上げます。

昨年、ご英霊鎮まる護
國神社の未来永劫の護
持、このことを大目標に

は護國神社での慰霊祭が

ご遺族・県民の皆様にご
協力をお願いしました御
創立百四十年記念事業
は、お陰を持ちまして参
集所であります「いさお
会館」の建て替えと「参
拝者待機所」の設置、そ
して本殿とを結びます
「回廊」が完成し、五月の
県戦没者慰霊祭にあわせ
て竣工式典を行います
た。改めて皆様方からの
温かいご支援に心から感
謝申し上げます。

新施設の完成後、秋に
は護國神社での慰霊祭が

は護國神社での慰霊祭が

は護國神社での慰霊祭が

新年のご挨拶



日本遺族会会長
衆議院議員

古賀 誠

明けましておめでと
うございます。

ご遺族の皆様方にはお
健やかに新年をお迎えの
こととお慶び申し上げま
す。

先の参議院選挙におき
ましては、全国のご遺族の
皆様のご支援を頂き、本会
常任顧問の水落敏栄参議
院議員が見事に二期目の
当選を果たされました。こ

つあります。

しかし、世界に目を向け
れば未だに紛争が絶えま
せん。日本も例外ではな
く、北方四島や尖閣諸島
など日本固有の領土が脅
かされ、更には北朝鮮によ
る韓国への一連の軍事行
動と対岸の火事では済ま
されません。戦争の悲惨
さ、愚かさを一番知ってい
る我々戦没者遺族が、ここ
で声を大にして世界の恒
久平和を訴えて行かねば
なりません。

国内では、民主党による
現政権は総理・閣僚の靖國
神社参拝はしないと明言
し、八月十五日の終戦の日

大絵馬など色々な企画を
試みました。大事なことは
護國神社とはどういう
神社か、どなたをお祀り
しているのか、若い人に
興味を持ってお参りして
いただき、少しでも護國
神社のことを解ってもら
うことです。

そして、中央に目を向
けますと、一昨年に自民
党から民主党に政権が交
代してから今日まで、実
に目まぐるしい一年であ
りました。

ご遺族の皆様には夏の

は、昭和六十年以降初めて
総理・閣僚が誰一人靖國神
社に参拝しない異例の年
となりました。靖國神社に
眠るご英霊に対する現政
権の姿勢は、誠に許しがた
く残念でなりません。日本
の安寧と繁栄を願って犠
牲となられた戦没者とその
遺族の思いにこたえるた
めに、総理・閣僚が靖國神
社に参拝することは当然
の責務であります。また、
唯一の戦没者追悼施設で
ある靖國神社に代わる新
たな追悼施設新設構想は
もつてのほかで、断固阻止
しなければなりません。

本年三月には、慰霊友

参議院選挙で大変お世話
になりましたが、鳩山政
権、そして菅政権の余り
にも無責任な、日本国民
として恥ずかしくなるよ
うな政権運営が昨年の参
議院選挙の結果に表れま
した。

しかし、この政権を選
んだのも日本の国民で
す。靖國神社には参らな
い、靖國神社とは別の建
物を造る」と云うような
政権、自分たちのイデオ
ロギー、自分たちの都合
で戦没者ご英霊を侮辱
し、国の誇りを貶めるよ
うな政権を選んだのは日
本の有権者です。国民も
多いに反省しなければな
りません。早くまともな
洋上慰霊を成功させ、今
後の慰霊友好親善事業の
更なる充実を図って行か
なければなりません。

また、急務であります
遺骨の帰還事業では政府
は平成二十三年度の硫黄
島遺骨収容に大幅な予算
の増額をしております。遺
族会としては、他の戦域に
おいても同様に取り組む
ことを強く要望しなけれ
ばなりません。

内外の情勢は益々厳し
く多事多難な事が予想さ

政治に戻さないと日本は
取り返しがつかないこと
になります。

私たちが国に求めるの
は、当たり前のことを、
当たり前にやる政治で
す。国のため、家族のた
めに戦って日本を護って
いただいたご英霊にお応
えする政治、唯それだけ
であります。

今年は戦後六十六年。
先の戦争は教科書の歴史
になりつつあります。残
念なことですが英霊顕彰
の意識は国民から次第に
薄らいでいます。そうい
う中で遺族運動を続ける
ことは大変なことです。
しかし、私たち遺族は出
来るだけの努力を続けな
れます。本来あるべき姿を
失っている今こそ、目先の
事にとらわれず、初心に立
ちかえり、心ある国民と共
に戦後政治を総括し、真の
保守政治の回帰に努めな
ければなりません。

支部の皆様方におかれ
ましては、日頃より諸問題
解決にご努力をいただき
誠にありがとうございます
す。戦後六十五年が経過
し、戦争の記憶が風化され
つつある今、我々戦没者遺

族はこれからも戦争体験
を次の世代に語り継いで
行かねばなりません。全国
の支部の皆様方のご協力
をいただき、英霊の顕彰と
戦没者遺族の福祉向上の
ために全力を尽くしてま
いる所存でありますので、
変わらぬご支援・指導を
賜りますようお願い申し
上げます。

本年は卯年、ご遺族皆
様方にとりまして兎のご
とく飛躍の年になり、皆様

方

勝

げ

多

幸

を

祈

念



新年のご挨拶



参議院副議長
尾辻 秀久

新年明けましておめでとうございます。
ご遺族の皆様方におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年が皆様にとりまして、よい年となりますことを心からお祈り致します。

選挙に臨みました私にとりまして、このような結果を頂きましたことは、ひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物と改めて心より御礼申し上げます。更には、このところの普天間、尖閣諸島問題に代表されるように、現政権に日本の舵取りを任せ

ず。選挙の結果いかに関わらず、日本の行く末を懸念する中、思いもかけず参議院副議長という役職を拝命致しました。参議院は野党が多数を占めるねじれ国会となりましたので、その責任の重さを実感しております。

を全うしていく所存でありますこと、ご理解頂けましたら幸いです。経済、社会保障、外交をはじめ、内外とも決して楽観できるものではございません。国民の皆様方が少しでも心穏やかに過ごしてできますよう一心に努力して参ります。

新年のご挨拶



日本遺族会常任顧問
参議院議員
水落 敏栄

明けましておめでとうございます。
ご遺族の皆様にはお元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。はじめに、昨年の参議院選挙では、全国のご遺族皆様のご支援をいただき二度目の当選を果たすことが出来ました。心よりお礼申し上げます。

の上は、ご支援にお応えすべく、これからもご遺族皆様の声を国政に届けて参ります。さて、民主党政権となり一年半余、その場しのぎの政権運営に憤慨されている皆様も多いことと存じます。長引く不況に伴う雇用不安、過去最低の大学生の就職率、円高

などの事態に迅速な対応はせず、子供手当や高校無償化などのバラマキ政策ばかりです。加えて普天間基地問題、尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件、北朝鮮の韓国延坪島への砲撃事件における政府の対応には誠に義憤を覚えます。

また、逐年改善が図られて参りました戦没者遺族に対する処遇は、引続き国家補償の理念に基づき改善が図られるよう政府に要望して参ります。今後の遺族会活動は懸案が山積しています。特に平成二十五年の戦没者の妻の特別給付金と、平成二十七年の特別弔慰金の継続、中でも遺族会組織の存続をかけた特別弔慰金の継続は、あらゆる戦略、戦術を構築して実現を図らなければなりません。その為には、総選挙や参議院選挙で遺族会

謹賀新年

平成二十三年 元旦



会長	岸本 清美	津山市	副会長	近常 寧	岡山市
理事	平田 晶三	倉敷市	理事	服部 剛司	総社市
理事	浅野 實	真庭市	理事	秀平 良子	笠岡市
理事	田原 豊年	新見市	理事	渡辺 雅允	浅口市
理事	藤原 茂夫	勝田郡	理事	吉岡 昇	倉敷市
理事	田淵 潔	津山市	理事	坂根 弘子	岡山市
理事	藤原 信子	倉敷市	理事	橋本 好子	勝田郡
理事	吉岡 昇	倉敷市	理事	高橋 生人	岡山市
理事	木村 智恵	倉敷市	理事	平田 晶三	倉敷市
理事	小野 栄治	倉敷市	理事	近藤 紀男	津山市
理事	安藤 誠一	笠岡市	理事	秀平 良子	井原市
理事	坂川 泉	井原市	理事	服部 剛司	総社市
理事	大月 健一	高梁市	理事	田原 豊年	新見市
理事	小長 琢幸	備前市	理事	高原 能夫	瀬戸内市
理事	国安 宏亮	赤磐市	理事	浅野 実	真庭市
理事	岡本美智夫	美作市	理事	渡辺 雅允	浅口市
理事	山本よし子	総社市	理事	山本 徳治	津山市
理事	佐藤 和子	倉敷市	理事	井上 晴夫	倉敷市
理事	井上 薫	倉敷市	理事	中田 素実	倉敷市
理事	額田 克美	岡山市	理事	北 初子	岡山市
理事	石坂早智子	岡山市	理事	木村喜久江	岡山市
理事	水元 春子	岡山市	理事	豊田 裕道	岡山市
理事	小橋 慶子	岡山市	理事	須々木壽志	岡山市
理事	服部 晃一	岡山市	理事	難波 忠純	加賀郡
理事	米本 吉憲	久米郡	理事	橋本 好子	倉敷市
理事	藤原 茂夫	倉敷市	理事	黒田 晴義	勝田郡
理事	池田 和雄	真庭郡	理事	芦川 巖	真庭郡
理事	日置 彰雄	小田郡	理事	林 勇	都窪郡
理事	角南 和弘	和気郡	理事	角南 和弘	和気郡

第67回全国戦没者遺族大会 経過の概要

一、開催日時

平成22年12月16日(木)
午前10時～11時10分

二、開催場所

九段会館ホール

三、参加者

全国戦没者遺族代表約
九三〇名(岡山県からは
岸本会長をはじめ十三名
が参加)

四、来賓

*自由民主党総裁
谷垣 禎 氏

*自由民主党総務会長
小池 百合子氏

*遺家族議員協議会会長
伊吹 文明氏

*衆議院議員 八二名
(内 本人三九名)

*参議院議員 五四名
(内 本人三二名)

計 一三六名
(内 本人七〇名)

*他に厚生労働省社会・
援護局長、大臣官房審
議官、総務省人事・恩
給局長らが出席。

五、経過の概要

政府は、二十三年度一
般会計の歳出額を昨年並
みの九十二兆円前後とす
る方向で調整に入り、十



自民党を代表し挨拶する谷垣総裁

算編成となることが予想
される。

二月二十四日に予算案を
閣議決定する方針で進め
ている。

しかし、これに見合う
歳入の目処が立たず、新
規国債発行額が四十四兆
円以下に収まるかどうか
が争点となっている。更
には、昨年に引き続き当
初の予算段階で国債発行
額が税収を上回り、如何
に国の財政が危機的状況
に陥っているかが示され
るなど、一段と厳しい予

本会はいよいよ厳しい
財政状況の中、公務扶助
料・遺族年金等の改善や、
厚生労働省社会・援護局
から提出されている要望
事項の完全実現を目指
し、東京・九段会館に全
国四十七都道府県遺族会
の代表の参集を求め、自
由民主党所属の衆参国会
議員の先生を来賓に招い
て遺族大会を開催した。

第六十七回全国戦没者
遺族大会は、定刻の午前
十時、日本遺族会の畔上
和男事務局長、関塚傳治
会した。

開会の言葉を森田次夫
副会長が述べ、国歌斉唱
について、靖國の社に鎮
まる二百四十六万六千余
柱のご英霊に感謝の黙禱
を捧げた。

次に、古賀誠会長(衆
議院議員)が挨拶に立ち、
全国各地から参集した遺
族代表並びに国政極めて
忙しい中にも拘わらずご
臨席をいただいた谷垣総
裁をはじめとする衆参国
會議員に対しお礼を述べ
た。

続いて古賀会長は「今
年は先の大戦が終結して
六十五年の節目の年であ
り、本会においても輝きの
の年でありました。尾辻
副会長が参議院副議長に
就任され、また、夏の参
議院選挙では水落常任顧
問が再選を果たしまし
た。

また全国の遺族会では
終戦六十五周年を記念し
て記念大会が行われまし
た。各地の大会に参加さ
せていただき、あらため
て、尊い肉親を先の大戦
で亡くした戦没者遺族の
強い絆、苦しい厳しい時
代を互いに支え、助け合



水落参議院議員に面会した陣情団
(12月16日)

い今日があるんだ」と感
動いたしました。

一国の総理、国と国民
の運命を担うリーダー
が、軽々しくも「仮免許
」と言う事態は我が国の危
機です。我が国の平和と
繁栄を築くことが出来た
のは、靖國の社に鎮まる
御祭神の礎とご加護で
す。そのことを理解し、
しっかりとした理念を持
つのが自由民主党です。
残念ながら今の政権には
無い。

この国の未来がどうあ
るべきか、自民党も過去
を振り返って反省し、戦
没者ご遺族の皆様ともう
一度、あの終結したその
日の原点に立ち返り、新
しい日本の国と国民の平
和を見出さなければなり
ません。

戦没者ご遺族も高齢化
が進み、また戦争を知ら
ない世代が国民の八十%
に達し、あの厳しい戦争
の記憶が風化しようとし
ています。今一度、靖國
神社の持つ意味を考え、
靖國神社の社に鎮まる御
祭神が本心に安らかにお
眠りいただくことができ
ているのか、私たちは御
英霊の声なき声をしっか

りと感じ、そして、一人
ひとりが次の世代にどう
いう国を残して行かなけ
ればならないのか考えな
ければなりません。遺族
の責任は小さなものでは
ありません」と挨拶を結
んだ。

次に来賓の挨拶に移
り、自由民主党を代表し
て谷垣禎一自民党総裁
(衆議院議員)、小池百合
子自民党総務会長(衆議
院議員)、そして、遺家族
議員協議会を代表して伊
吹文明会長(衆議院議員)
から、それぞれ挨拶をい
ただいた。

次に予算編成時期で忙
しい中、大会に参加いた
だいた衆参国會議員を紹
介した。

評議員		評議員	
竹田 忠只	高梁市	瀬良 栢男	浅口市
平井 和子	〃	松原 徳子	〃
鈴木 治	新見市	須藤 鶴子	和気郡
山田 春美	〃	中桐登喜子	都窪郡
岡田幸太郎	備前市	妹尾 貞子	小田郡
平松 淑	〃	佐藤 君代	真庭郡
雪吉 巧	瀬戸内市	田中 恂子	苫田郡
佐藤 悦子	〃	川島 晴江	久米郡
岡村 宣子	赤磐市	羽波 豊美	加賀郡
植木 隆	真庭市	事務局長	〃
松尾 瑞枝	〃	藤田 幸子	事務局長
豊久百合子	美作市	渡邊千恵子	〃
井上 清史	英田郡	〃	〃

その後、大会の議長に
増矢稔副会長が就任し、
増矢議長長の進行で意見
発表を富田千秋常務理事
(熊本県遺族連合会会長)
が行った。次に宣言案を
小川忠徳常務理事(大分
県遺族会連合会会長)が
決議案を廣明研正常務理
事(富山県遺族会会長)
が朗読発表し、大会参加
者がそれぞれを語り、満
場の拍手をもって採択さ
れた。(採択された宣言、
決議は別掲)

その後、水落敏栄常任
顧問(参議院議員)の発
声で万歳を三唱、終わ
りに、勝間周作常務理事(埼
玉県遺族連合会会長)の
閉会の辞を以て大会を終
了した。(次頁へ)

そして、大会出席者は
◎12月15日(水)
*林芳正自由民主党調
会に赴き、各地元選出の
会長代理
国會議員に対し遺族会の
◎12月16日(木)
要望事項実現への理解と
*大島理森自由民主党副
協力を求める陳情を行っ
総裁
た。
*石破茂自由民主党調
また、日本遺族会役員
会長
と地元代表による特別陳
*谷垣禎一自由民主党総
情が次のとおり行われた。
裁

宣言

先の大戦において焦土と化した日本。戦後の混乱
する社会の中、われわれ戦没者遺族は最愛の肉親を
失った悲しみを乗り越え、英霊の顕彰と戦没者遺族
の福祉増進のため力を結集し、茨の道を切り開いて
きた。戦後六十五年の歳月が過ぎ、今や我が国は世
界に類を見ない復興を遂げ、平和と自由を享受して
いる。この豊かな生活が、祖国の繁栄と安泰を念じ
つつ散華された英霊の尊い犠牲のうえに成り立つて
いることを、私たちは決して忘れてはならない。

世界各地では未だ紛争が絶えず、罪のない多くの
生命が奪われている。また、我が国でも日本固有の
領土が脅かされ、更には北朝鮮による韓国への軍事
行動で一般住民が犠牲となるなど、その現状に深い
悲しみと憤りを禁じ得ない。

戦争を知らない世代が大半を占め、戦争の記憶が
風化されつつある今、私たちは「二度と戦争を起こ
してはならない、私たちのような遺族を出してはな
らない」と言う原点を決して忘れることなく、戦争
の悲惨さと平和の尊さを次世代へと語り継ぎ、世界
の恒久平和の実現に心血を注いで行かなければなら
ない。

内閣総理大臣の靖國神社の参拝は、平成十八年八

月以降途絶えており極めて遺憾である。現政権にお
いても菅総理は靖國神社に参拝しないと明言し、更
には各閣僚に対しても靖國神社参拝自粛を求めるな
ど、靖國神社に対する戦没者の真情を逆なでする言
動は断じて看過できない。いかなる困難があろうと
も、総理の靖國神社参拝の御旗は降ろしてはならな
い。

また、現政権は靖國神社に代わる新たな国立の戦
没者追悼施設建設を政策に掲げている。我々遺族の
みならず、多くの国民が靖國神社こそ我が国唯一の
戦没者追悼施設と考えており、靖國神社そのものを
否定することになりかねない追悼施設の建設は断じ
て容認することはできない。今後とも政府・国会等
の動向を注視し、断固阻止する。

一方、戦没者遺族への処遇は逐年改善が図られて
いるが、なお課題は山積している。一命を国家に捧
げられた戦没者の遺族に対する処遇は、国家補償の
理念に基づき政府は今後も改善に努力し、更には、
全国戦没者追悼式への国費参列者の対象範囲の拡大
など戦没者遺族に報いるべきである。また、戦没者
遺児の慰霊友好親善事業は国の慰霊事業であること
に立ち返り一層の充実を図ることを求める。遺骨の
帰還事業は、未だ海外等に残されている遺骨の収容
が急務であり、来年度予算で政府は硫黄島での遺骨
収容に対し、大幅な予算増額を行い積極的に取り組
むことを表明している。是非とも実行に移し、これ
を契機に、その他の戦域でも同様に取り組まれるこ
とを要望する。

他方、戦没者の妻等に対する特別給付金は、国か
ら戦没者の妻等への慰藉の意を表す貴重な給付金で
あり、平成二十五年以降も継続されるよう今から準
備を整えなければならない。

いずれも、我々戦没者遺族の切なる思いばかりで
ある。しかし、現在の社会情勢は国の礎となられた
英霊の尊い御心を忘れ、目先のことにとらわれ本来
あるべき姿を失っている。今こそ初心に立ちかえり、

心ある国民と共に戦後政治を総括し、真の保守政治
の回帰に努めなければならない。

我々は、ここに第六十七回全国戦没者遺族大会を
開催し、組織の総力を結集し要望貫徹に邁進するこ
とを誓う。

右宣言する。

平成二十二年十二月十六日

第六十七回全国戦没者遺族大会

決議

本日、ここに第六十七回全国戦没者遺族大会を開
催して、総力をあげて左記各項の実現を期する。

記

一、世界の恒久平和を目指し、戦争の悲惨さを戦後
世代に語り継ぐこと。

一、総理、閣僚等の靖國神社参拝を推進すること。
一、国立の戦没者追悼施設新設構想を断固阻止する
こと。

一、国家補償の理念に基づき遺族処遇を改善すると
共に、特別給付金継続の準備を整えること。

一、慰霊友好親善事業の充実、急務である遺骨帰還
事業等を拡充強化すること。

一、全国戦没者追悼式への国費参列者の対象範囲を
拡大すること。

一、戦没者慰霊追悼行事への児童、生徒の参列を推
進すること。

一、戦後政治を総括し、真の保守政治の回帰に努め
ること。

右決議する。

平成二十二年十二月十六日

第六十七回全国戦没者遺族大会

谷垣禎一自民党総裁
挨拶要旨

今年先の大戦の終結
から六十五年の節目の年
です。しかし、六十五年
経ちましたけれど、北東
アジアは依然として位置
的、政治的な緊張関係が
絶えない所です。そうい
う中であって、我が国は
一貫して平和国家として
の道を歩み、国際社会に
貢献する日本として世界
の中から高い評価を受け
てきました。

日本人はお互いが助け

合う真心を大切に、
そういう絆社会を築いて
きました。過去に生きて
きた日本人の知恵、その
生き方に学び、これから
生まれてくる日本人に対
して責任を持つ姿勢、世
代と時代を超えて繋がっ
ていく、これこそが日本
人がつくった絆社会の本
質であります。

遺族会の皆様方と力を
合わせ、英霊の慰霊と顕
彰、そしてご遺族の福祉

今、政治に求められて
いるのは、日本人の根源

の増進に全力で取り組
みます。これは本来、自民
党だけの仕事ではありません。
与党、野党とい
うことではありません。

残念ながら、菅総理の
就任の日から今日に至る
まで、総理ご自身の言葉
として、この国をどう導
くのか、その信念を聞い
たことはありません。こ
のことが尖閣諸島沖の中
国漁船衝突事件や、多く
の事件における政府の無
責任な対応につながっ
ています。

遺族会の皆様と共に歩
んできた自由民主党が、
このような使命を政治の
上で担っていかなければ
なりません。私共はこの
想いを新たに先へ進
まなければなりません。

三万八千人の初詣で賑わう

岡山県護國神社

大晦日から境内をライトアップ

幅六メートルの大絵馬も

例年になく厳しい寒さとなった年末年始であったが、ご英霊鎮まる岡山県護國神社では大晦日から三日までに約三万八千人の初詣の人々が訪れ、御祭神への感謝と新たな年の安寧をお祈りした。

景気や雇用の低迷が続く中、護國神社では少しでも明るい年を迎えられるようにと、大晦日から境内周辺のライトアップを実施。社殿をはじめ、森に囲まれた境内が黄色や白のライトで浮かび上

がり、厳かな雰囲気を感じ出した。また、舞楽殿には横六m、縦三・五mの大絵馬も今年から登場し、参拝後、家族や友達と一緒に大絵馬の前でカメラを構える風景が見られた。



暗闇に浮かぶ神社の森 (12月31日)



大絵馬の前で記念撮影 (1月1日)

お正月前に境内の清掃奉仕 岡山市西大寺遺族連合会

岡山市西大寺遺族連合会(岡崎浜雄会長)では、春秋の慰霊行事前と年末に県護國神社境内の清掃を行っているが、去る十二月二十八日の朝、お正月前の清掃奉仕が会員有志により行われた。

師走に入り寒い日が続いてきたが、当日は風のない穏やかな日となり、会員はホウキやビニール袋などを手に、境内広場や水路、そして各慰霊碑の周辺に溜まった落葉や枯れ枝などを取り除いた。

遺族会の動き

平成二十三年十二月行事表

- 1日 岡山市西大寺雄神地区戦没者慰霊祭(県護國神社) 厚生労働大臣表彰受賞式(厚生労働省)
- 2日 真庭市八束地区遺族会護國神社参拝(県護國神社)
- 4日 岡山市御津遺族会靖國神社参拝(東京方面) 二泊
- 15日 尾辻議員参議院副議長就任並びに水落議員を激励する会(九段会館)
- 16日 全国戦没者遺族大会・国会陳情(九段会館ホール)
- 21日 県連盟上半期会計監査(県連盟事務所)
- 22日 県監査室事業監査(県連盟事務所)
- 28日 御用納め

平成二十三年一月行事表

- 1日 歳旦祭(県護國神社)
- 3日 元始祭(県護國神社)
- 5日 逢沢一郎(年始会)(Hグランヴィア岡山)
- 8日 石井正弘新年祝賀会(岡山プラザH)
- 9日 岡山市瀬戸遺族連合会護國神社正式参拝・新年互礼会(倉敷市内)
- 13日 倉敷市遺族連合協議会新年互礼会(倉敷市役所)
- 16日 北方領土返還要求県民会議幹事会(岡山商工会議所)
- 17日 県護國神社崇敬者大総代・総代合同会議(県護國神社)
- 21日 平沼起夫県南新春懇談会(Hグランヴィア岡山)
- 21日 新見市遺族連合会新年互礼会(新見市内)
- 21日 岡山市南遺族連合会役員会(妹尾地域C)
- 21日 県連盟役員・市郡遺族連合会事務担当者合同研修会(岡山ロイヤルH)



清掃奉仕後、神社に参拝された西大寺遺族連合会の皆さん (12月28日)

- 24日 県連盟主催外国地域戦跡慰霊巡拝(パラオ諸島) 四泊五日
- 25日 岡山市西大寺戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 27日 岡山市西大寺遺族連合会新年互礼会(瀬戸内市内)
- 27日 自民党岡山県連総務会・選挙対策委員会合同会議(岡山プラザH)
- 27日 津山市遺族連合会新年互礼会(津山国際H)
- 27日 日遺支部事務局長会議(九段会館)
- 27日 日遺支部幹事会(九段会館)
- 27日 日遺支部女性部長会議(九段会館)
- 27日 瀬戸内市遺族連合会役員会(瀬戸内市内)
- 27日 あべ俊子を囲む新春の集い(津山鶴山H)
- 27日 平成二十三年二月行事表
- 7日 県連盟女性部平成22年度第二回研修会(岡山ロイヤルH)

篤志寄付

一金拾万円也

総社市泉

渡辺久子様